



## 本に掲載できなかったの巻

これです！

### その1

右の写真は、イギリスの最西端にある「ランズエンド」。  
ツアー1日目の最初に訪れた場所で、地図で言うと、イギリスの一番下の一番左。  
ここには記念撮影のポイントがあり、自分の住んでいる場所の地名と距離を入れられるのですが、私たちはあえて「KAGAMI RYUJI」と入れてベタな感じで記念撮影。  
周りには仮設のメリーゴーランドや屋台やミニチュアハウスなどがあり、初日のウォームアップには、ゆる～くてぴったりな場所でした！



### その2

ランズエンドの次に訪れたのは、「ミナックシアター」。ロウェナ・ケイドという女性が、地元の劇団のために、自分の家と庭を提供し、一人でコツコツ石を積み上げ亡くなるまで創り続けたという驚きの野外劇場。  
一生かけて作るなんて、どんな方だったんでしょう？  
美しい海岸線もこの地域の見所。まるで南国のリゾート？のようなエメラルドブルーの海。  
ちなみに、奥から2つ目の砂浜はヌーディストビーチなんですって！



### その3

今回のツアーで一番長く滞在したバースは、その名のごとく温泉リゾート発祥の地であり街全体が世界遺産。グラストンベリーやストーンヘンジを巡る拠点として便利な街です。

フリータイムには、鏡さん&スタッフで「ローマン・バス」へ。あまりの長蛇の列に恐れをなし中に入るのは諦めて、飲む温泉をトライしてみました。が、味は思い切りサビ水。鉄分を多く含んでいるそうですが、身体にいいんだか悪いんだか？

スパが併設されていますが、イギリスの法律により塩素殺菌をしている上に、源泉自体もぬるいのだそう。「日本人には物足りないかも」と水着ショップにいらした日本人のお姉様のアドバイスもあり、やめてしまいました。

バースの街は、本当に美しく、街も小さいので散歩するのにぴったり。

街の中心から坂を上がっていくと約200年前に建てられたバースの象徴「ロイヤルクレセント」がありますが、なんと売り物件があるんですよ。2ベッドルームで70万ユーロだそうです。

円高ですし、おひとついかが？

建物内には、ル・レ・シャトーに所属する「ザ ロイヤル クレセント ホテル」もあるので、まずは宿泊するのもよさそう。元宮殿に泊まれるなんて、なんて素敵なんでしょう！ 次回の滞在はここにしたいですね～。どうですか？鏡さん。

The Royal Crescent Hotel

[www.royalcrescent.co.uk/](http://www.royalcrescent.co.uk/)



これが温泉水です。  
コップに入れてくれます



温泉マークではなく、銀行のマーク



←これがクレセント。空き物件ございます